

第75回 武蔵嵐山 大平山 忘年ハイキング

第10支部 (有)大河原商店
大河原 敏生

このところ数年前にやったふくらはぎの肉離れの部分の調子が良くなく欠席気味でしたが、久々にハイキング同好会の忘年ハイキングに参加してきました。できれば忘年会のみの参加と思っていたのですが、「東塗商便り」11月号には打ち上げのみの参加は認めないとのことで初めから歩くこととなりました。

参加者は、幹事の磯部さん、石井さん、乾さん、若林さん、原さんの奥様、大根田さん、山本さん、前田事務局長、大井さんと私で10名の参加で東武東上線武蔵嵐山駅をスタートしました。

今回のコースは、駅を出発してもとても山があるとは思えない街中を進むこと30分 国道254号線を渡り、農産物直売所の脇に入ると緩やかな舗装された上り坂になり、小高い山が見えてきました。

今回登る大平山は、標高179mで、嵐山駅でも標高は50m位あるそうで、本当に優しいコースです。

「武蔵嵐山の地名の由来は、京都の嵐山に地形が似ているとのことで名付けられた」とのレクチャーを受けつつ「浄水場裏登り口」よりやっと山道に入りました。遠景には畑が見え里山ののどかな景色が広がります。落ち葉がつもり柔らかな心地のいい感触が靴の裏に伝わってきます。

そこから歩くこと10数分「大平山山頂の看板」駅から徒歩約1時間あっけなく頂上についてしまいました。

そこから少々下ると東屋があり、ここで小休止？
まず若林さんからスパークリングワイン、石井さんからビール、山本さんからウイスキーの差し入れ。そのほかおつまみに、大根田さんから燻製チーズとベーコン（私は初めてでしたが、お店で買ってこられたと思われる完成度の高さと、レシピは、以前 東塗商便りに投稿されたそうです。）他に乾き物などのおつまみと、そして恒例の磯部さんのアールグレーの入れたて紅茶。

大満足 これが忘年会と言われ、このまま帰っても文句のつけようもない内容でした。時間調整は、大休止の予定の「菅谷館」の公園の昼食ですることにしての長めの休憩になりました。

東屋を出発し、ここからは下りです。しばらく行くと通行止めの看板。不吉な予感。（八王子城から何か憑いてきたのでしょうか？）予定はこの道。そのまま進むと小型の重機で通行止めしてありましたが、何とかその脇をやり過ぎて進むと、冠水橋が見えて、今登ってきた大平山と対岸の塩山に狭間れた槻川を望む「嵐山溪谷」へ到着。11月の中頃には「嵐山溪谷 紅葉祭り」が行われる紅葉スポット。

葉の色着く景色を思い描いて進みます。

木曾義仲が産湯を使った清水の湧き出る鎌形八幡神社を見学し、槻川の下流の都幾川の堤防「桜堤」。ここも、春の満開の桜を思い描きつつ景色をめでて大井さんと最後尾を楽しみながら進むと、若林さんから急げの電話。予定の電車の時間に間に合わないとの連絡。そろそろ酒が切れたかと推察。気持ちは早くも忘年会会場へか？ 予定の電車に乗り遅れ（30分遅れ）で飯能へ。

森山さん、原さんのご主人を加えて飯能の次郎長鮎にて恒例の忘年会。
来年も皆さんと体調を整えて楽しいハイキングの機会を持てたらと思っています。
年初めは1月24日の高尾山の護摩焚きです。足の具合と相談ですが、歩いて登るつもりです。